

教育部 幼保こども園課
令和 7 年 1 2 月定例会 厚生文教委員会

「生駒市幼稚園再編に係る基本方針に係るパブリックコメントの実施について」
の説明資料

- 資料 1 生駒市幼稚園再編に係る基本方針（案）の概要について
- 資料 2 パブリックコメント実施に係るチラシ
- 資料 3 生駒市幼稚園再編に係る基本方針（案）

生駒市幼稚園再編に係る基本方針(案)の概要について

■基本方針策定の趣旨

本市では、幼稚園ニーズの変化に伴い、平成30年3月「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」、令和2年2月「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」、そして当時再編対象園とされた生駒台幼稚園、俵口幼稚園、なばた幼稚園、壱分幼稚園の各地域協議会からの意見を踏まえ、令和3年11月「生駒市立幼稚園の再編に係る方向性について」をとりまとめ、その中で「1つの学年の園児数が10人以下、もしくは、全学年で学年当たりの園児数が15人以下となった時、子どもの成長を最優先に考え、当該園の再編に向けた対応を進めていくこととする。」という基準を示しました。

現在、公立幼稚園園児の減少に伴い、当時再編対象園でなかった園においても、この基準に該当する園が発生していたことから、改めて、今後の対象年齢児の人口推計、対象幼稚園の園児数の将来推計、施設の状況の確認に加え、アンケート調査による保護者ニーズの把握等を行い、公立幼稚園の基本方針について策定をしたものです。

■基本方針の構成

本基本方針は、個別の公立幼稚園のみで検討するのではなく、市全体で今後について考える必要があることから、以下の章で構成しています。

第1章 生駒市の幼稚園、保育園のこれまで

基本方針に策定につながる情報として、生駒市のこれまでの人口動態、幼稚園、保育園のこれまでと現状、幼稚園、保育園等に対する利用者(保護者)等意見(アンケート調査結果概要)を掲載し、今後の人口(0歳から5歳)の推計、教育・保育ニーズ推計の考え方、幼稚園再編の考え方について整理

第2章 公立幼稚園のこれから【個別基本方針】

第1章の内容を受けて、あすか野幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、俵口幼稚園、なばた幼稚園、生駒台幼稚園の個別の情報を掲載した上で、方針を掲載。参考としてひがし保育園の情報及び方針を掲載。(ひがし保育園については幼稚園ではないが、本基本方針において再編と結論しているため)

第3章 再編の推進にあたって

再編に推進にあたり、検討する事項として、こどもの学び・育ちの確保、関係団体、保護者、地域との協働、社会情勢の変化への対応、再編後の跡地利用について考え方を整理、その後再編スケジュール、再編後の姿について掲載

資料編:アンケート調査結果(詳細)

■幼稚園再編の主な考え方

1. 望ましい集団規模の確保(集団性を確保するために、「一つの学年の園児数が10人以下、全学年で学年あたり園児数が15人以下」となった時、再編を進める)
2. 増加する保育ニーズへの対応
3. 多様化する保護者ニーズへの対応

■幼稚園再編のスケジュール

現時点で在園している園児がなるべく現在の幼稚園・保育園で卒園できるよう、また、現在想定していない社会情勢の変化があった場合には見直すなど柔軟な対応を心がけていきます。

幼稚園	保育園・こども園	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	備考
生駒台幼稚園		存続						
あすか野幼稚園								令和 11 年度末を目途に再編または閉園
俵口幼稚園								令和 12 年度末で閉園
桜ヶ丘幼稚園								令和 12 年度末で閉園
	ひがし保育園							令和 12 年度末で閉園
	(仮称) 桜ヶ丘こども園							開園予定（令和 13 年度）
	中保育園	存続						
	認定こども園 生駒幼稚園	存続						
なばた幼稚園		存続						令和 10 年 4 月に分園（私）を敷地内開園
壱分幼稚園								令和 8 年度末で閉園
	(仮称) 壱分こども園							開園（令和 9 年度）
南幼稚園		存続						
	みなみ保育園	存続						
	小平尾保育園	存続						